



そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban

5月31日は全珠連検定ですが、あいにくこの日は豊川市内の複数の小学校での運動会予備日にあたります。基本的に検定試験の受験日を変更することは出来ませんが、例外的に検定日が学校行事と重なってしまう場合には、前日検定となります。今回は前日の5月30日(土)の夕方に高見教室にて実施することになります。

あくまでも学校行事の日程と重なった場合のみの措置となり、例えば野球・バスケの試合など学校とは関連のない事情の場合には変更できませんのでご了解ください。



AI 時代になぜ「そろばん」?

タブレット学習が普及し、学校でも生成 AI を活用した学習が取り入れられるようになった今の時代に、あえてアナログな「そろばん」を子どもに習わせるメリットは何でしょうか。暗算力が鍛えられるそろばんは、実は中学受験に向けて始める家庭が多く、受験率の高い地域では人気の習い事なのだそう。そろばんで育つ子どもの力について、(公社)全国珠算教育連盟の理事長、そして現役の先生でもある、鈴木宗一先生にお話をうかがいました。



—今、子どもたちはどのような目的でそろばんを始めることが多いのでしょうか。

集中力が養えるといったメリットもありますが、やはり一番は計算力がつくことですね。そろばんを続けていくと、実際に道具を使わなくても、頭の中のイメージでそろばんをはじけるようになるんです。学校で習う筆算と違い、桁数の多い計算でも、圧倒的なスピードで解けるようになります。

—タブレット学習なども普及する中で、あえてアナログなそろばんを習う良さはどこにありますか?

今は学校でもタブレットが全面的に導入されていますが、そろばんは学びの質が違うように思います。子どもたちの体に染み込むといいますか、実際に指を使って動かすことで、感覚として学びが定着するんです。スポーツは、実際に自分の体を動かさないと、感覚がなかなかつかめないですよね。そろばんは、それによく似ているんです。

—そろばんに向いているのはどんな子でしょう?

基本的にはスポーツと一緒にですから、コツコツ努力を続けられる子はやはり強いですね。もともと計算が苦手な子も、コツコツ続ければ力をつけることができます。

—そろばん学習を続けていく中で見られる、子どもの成長のサインにはどのようなものがありますか。

そろばんを学ぶ上で、すべてが順調に行くことはまずないんです。レベルが上がれば上がるほど、失敗体験というか、いろいろな壁にぶつかります。だからこそ、それを乗り越えたときの精神面での成長、心の成長というのは、とても大きいものがあります。

—最後に、何かメッセージがあればお願いします。

そろばん教育というのは、子どもたちの自力をつける学びだと思っています。表面的なものではなく、しっかりと質を高めていくような学習です。
(nobico より抜粋)

そろばん学習についてのポイントが良くまとまっていて分かりやすいですね。壁にぶつかる話が出てきますが、この点は本当に同感です。どんなに上手な生徒でも練習では必ずミスします。「間違えること=悪いこと」ではなく成長するチャンスと考えると良いかもしれません。かけ算・わり算での答えを入れる位置の間違い、見取り算での引き間違い、答えにゼロの付け忘れ、コンマ・小数点の付け忘れや付け間違いなどがとても目立ちます。

特に時間を計って練習する場合にはあまりに急いでやろうとするあまり、つい間違えてしまいがちです。対策として、時間が余った時にはたしかめ算(再計算)するなど時間が終了するまで気を抜かずに集中することが大切!

失敗から自分がやりがちなクセを修正してさらに珠算力をアップしていこう。